




























様へ

説明医師

説明看護師(外来)





















看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日～月 日
経過	治療開始日(入院日)	2日目	3～6日目
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○川崎病の治療の流れがわかる ○家族が経過を受け入れることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○グロブリン治療後、熱が下がる ○心臓超音波で冠動脈に異常がない ○内服薬が飲める ○免疫グロブリンの副作用が見られない 	<ul style="list-style-type: none"> ○熱が37.5度以下である ○心臓超音波で冠動脈に異常がない ○内服薬が飲める ○免疫グロブリンの副作用が見られない
検査	  採血 心臓超音波 心電図 胸部レントゲン  	<ul style="list-style-type: none"> ・症状の経過に応じて適宜血液検査、心臓超音波、心電図等を行ないます ・入院中は心電図と心臓超音波検査は週1～2回行います   	
食事	発熱その他の症状に応じて、無理せず食事をすすめてください		
	朝食は 自宅で	 	     
処置・観察	 朝、昼、夜に体温、脈拍、血圧 酸素飽和度を測定します リストバンドをします 心電図モニターを始めます	 <ul style="list-style-type: none"> ・発熱時には解熱剤を使用し、氷枕などを用意させていただきます ・夜間も2時間置きに見回り、点滴の確認をさせていただきます ・お薬を飲むのが難しい時はお手伝いします ・アスピリンを服用しているため、やや出血が止まりにくく、内出血しやすい場合があります 	
点滴・内服	 点滴をします (必要時) ★免疫グロブリンを投与します ★必要時ステロイドを投与します  アスピリンを1日3回 内服します 毎朝1日分のお薬をお渡しします	 	 
行動	点滴治療が行なわれている間は ベッドで安静に過ごしてください	症状の経過に応じて清拭、シャワーなどを実施します 清拭は月～金曜日の毎日、洗髪は月・水・金曜日に予定しています 着替えやタオル、シャンプーの準備をお願いします   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※ お子様から離れられる時は、必ずベッド柵を 最上段まで上げ、転倒・転落事故にご注意ください </div>	
説明	 医師より ・検査結果と入院後の治療計画 について  看護師より ・入院生活について	入院中ご心配なことはいつでも医師、看護師にお聞きください	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日
経過	7～10日目	11～13日目	14日目（退院日）
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○発熱がない ○心臓超音波で冠動脈に異常がない ○内服薬が飲める ○免疫グロブリンの副作用が見られない 	<ul style="list-style-type: none"> ○発熱がない ○心臓超音波で冠動脈に異常がない ○内服薬が飲める ○川崎病の症状がよくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○症状再燃なく退院できる ○家族が治療経過を受け入れられる ○退院後の療養について理解できる
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・症状の経過に応じて適宜血液検査、心臓超音波、心電図等を行ないます ・入院中は心電図と心臓超音波検査は週1～2回します 		
食事	発熱その他の症状に応じて、無理せず食事をすすめてください       		
処置・観察	 朝、昼、夜に体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を測定します <ul style="list-style-type: none"> ・発熱時には解熱剤を使用し、氷枕などを用意させていただきます ・夜間も2時間置きに見回り、点滴の確認をさせていただきます ・お薬を飲むのが難しい時はお手伝いします ・アスピリンを服用しているため、やや出血が止まりにくく、内出血しやすい場合があります (ステロイド併用時は食欲増進や満月様顔貌が見られることがあります) 		 <ul style="list-style-type: none"> ・退院日は治療後一律に決まるものではありません ・熱の持続状況やお子様の身体状況で変動します ・退院時にリストバンドをはずします
点滴・内服	 点滴をします 症状が安定すれば 点滴をはずします 解熱がみられなかった場合は免疫グロブリンを再投与します。 ★必要時ステロイドを投与します		
内服	 状況により医師の許可があればアスピリンは1日1回服用になります <ul style="list-style-type: none"> ・その他の内服がある場合も適宜減量します 		
行動	点滴治療が行なわれている間はベッドで安静に過ごしてください 症状の経過に応じて清拭、シャワーなどを実施します 清拭は月～金曜日の毎日、洗髪は月・水・金曜日に予定しています 着替えやタオル、シャンプーの準備をお願いします   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ※ お子様から離れられる時は、必ずベッド柵を最上段まで上げ、転倒・転落事故にご注意ください </div>  発熱がなければ、医師に確認のうえプレイルームで過ごすことができます		
説明	入院中ご心配なことはいつでも医師、看護師にお聞きください		 医師より説明 ・退院後の治療について 川崎病のカードをお渡しします  看護師より説明 ・退院後の治療について